

問 13 次の表計算及びワークシートの説明を読んで、設問 1, 2 に答えよ。

〔表計算の説明〕

企業が行う取引には、商品を販売してから一定期間後に販売代金を取引先から回収する方法がある。回収していない状態の代金のことを売掛金という。取引先の信用度を様々な角度から評価して、取引先に対する売掛金の限度額である与信枠を設定し、売掛金を確実に回収できるように管理することを与信管理という。K 社では、21 の取引先ごとに月 1 回の注文を受けると、即日納品をして、月末に請求を行っている。K 社では、与信管理を次の手順で行っている。

- ① 取引先の流動資産、流動負債、自己資本などの情報を収集する。
- ② 流動比率及び自己資本比率を表 1 に示すレベルに当てはめ、取引先の信用度を評価するとともに、それぞれのレベルに対応する与信枠の計算式を用いて、基準 1 及び基準 2 の計算値を求める。
- ③ 基準 1 と基準 2 の計算値のうち、小さい方を与信枠とする。ただし、小さい方の値が負の場合、0 とする。

表 1 取引先の信用度の評価と与信枠の計算式

評価指標		レベル	信用度	与信枠の計算式
基準 1	流動比率	90 %未満	取引停止	0
		90 ~ 130 %未満	慎重	(流動資産－流動負債) × 0.5
		130 ~ 150 %未満	現状維持	(流動資産－流動負債) × 1
		150 ~ 200 %未満	積極	(流動資産－流動負債) × 1.5
		200 %以上	最優先	(流動資産－流動負債) × 2
基準 2	自己資本比率	5 %未満	取引停止	0
		5 ~ 20 %未満	慎重	自己資本 × 0.2
		20 ~ 40 %未満	現状維持	自己資本 × 0.5
		40 ~ 70 %未満	積極	自己資本 × 1
		70 %以上	最優先	自己資本 × 1.5

- ④ ②の二つの基準に基づく信用度の組合せから、表 2 に示すとおり、上限を 3 か月とした支払いサイトを決めている。ここで、支払いサイトとは請求月から支払期限までの月数である。表 2 中の“－”は、取引停止であること示している。
- ⑤ 前月の売掛金の残額に当月の注文額を加えた額が与信枠を超える場合、及び取引停止の場合には、当月の注文を受けない。

表 2 信用度に基づく支払いサイト

単位 月数

基準 1 \ 基準 2	取引停止	慎重	現状維持	積極	最優先
取引停止	—	—	—	—	—
慎重	—	0	1	2	2
現状維持	—	1	2	2	2
積極	—	2	2	3	3
最優先	—	2	2	3	3

設問 1 取引先の信用度評価と与信枠の計算に関する次の記述中の に入る正しい答えを、解答群の中から選べ。

〔ワークシート：信用度評価基準〕

二つの基準のそれぞれのレベルに応じた信用度及び与信枠を求める計算式で利用する係数（以下、与信枠係数という）を登録した図 1 のワークシート“信用度評価基準”を作成した。

	A	B	C	D	E	F
1	評価指標		レベル	下限値 (%)	信用度	与信枠係数
2	基準 1	流動比率	90 %未満	0	取引停止	0.0
3			90 ～ 130 %未満	90	慎重	0.5
4			130 ～ 150 %未満	130	現状維持	1.0
5			150 ～ 200 %未満	150	積極	1.5
6			200 %以上	200	最優先	2.0
7	基準 2	自己資本比率	5 %未満	0	取引停止	0.0
8			5 ～ 20 %未満	5	慎重	0.2
9			20 ～ 40 %未満	20	現状維持	0.5
10			40 ～ 70 %未満	40	積極	1.0
11			70 %以上	70	最優先	1.5

図 1 ワークシート“信用度評価基準”

- (1) 流動比率のレベルごとの下限値をセル D2 ～ D6 に、自己資本比率のレベルごとの下限値をセル D7 ～ D11 に入力する。
- (2) 流動比率及び自己資本比率のレベルに応じた信用度をセル E2 ～ E6 及びセル E7 ～ E11 に入力する。
- (3) 流動比率及び自己資本比率のレベルに応じた与信枠係数をセル F2 ～ F6 及

びセル F7～F11 に入力する。

〔ワークシート：与信枠〕

取引先の信用度及び与信枠を求めるために、図 2 のワークシート “与信枠” を作成した。ここで、複数のワークシート間でデータを参照するには “ワークシート名！セル” 又は “ワークシート名！範囲” という形式で指定する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	取引先	財務データ						信用度		計算値（千円）		与信枠（千円）
2		流動資産 (百万円)	流動負債 (百万円)	流動比率 (%)	自己資本 (百万円)	総資本 (百万円)	自己資本比率 (%)	基準 1	基準 2	基準 1 での計算値	基準 2 での計算値	
3	K1	491	351	139.9	60	497	12.1	現状維持	慎重	140,000	12,000	12,000
4	K2	1,011	742	136.3	275	553	49.7	現状維持	積極	269,000	275,000	269,000
5	K3	855	680	125.7	301	818	36.8	慎重	現状維持	87,500	150,500	87,500
6	K4	587	800	73.4	50	211	23.7	取引停止	現状維持	0	25,000	0
7	K5	1,347	976	138.0	292	706	41.4	現状維持	積極	371,000	292,000	292,000
8	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
19	K17	2,330	1,900	122.6	200	397	50.4	慎重	積極	215,000	200,000	200,000
20	K18	1,829	1,722	106.2	267	852	31.3	慎重	現状維持	53,500	133,500	53,500
21	K19	433	380	113.9	310	1,087	28.5	慎重	現状維持	26,500	155,000	26,500
22	K20	739	532	138.9	444	1,167	38.0	現状維持	現状維持	207,000	222,000	207,000
23	K21	543	489	111.0	59	430	13.7	慎重	慎重	27,000	11,800	11,800

図 2 ワークシート “与信枠”

(1) セル A3～G23 に、取引先ごとの名称及び財務データ（流動資産、流動負債、流動比率、自己資本、総資本、自己資本比率）を入力する。

(2) 基準 1 の信用度の評価結果を求めるために次の計算式をセル H3 に入力し、セル H4～H23 に複写する。

垂直照合()

基準 2 の信用度の評価結果を求めるために次の計算式をセル I3 に入力し、セル I4～I23 に複写する。

垂直照合()

(3) 基準 1 での計算値を求めるために次の計算式をセル J3 に入力し、セル J4～

J23 に複写する。

c *1000

基準 2 での計算値を求めるために次の計算式をセル K3 に入力し、セル K4～K23 に複写する。

d *1000

- (4) 二つの基準によって求めた計算値のうち、小さい方を与信枠とするために次の計算式をセル L3 に入力し、セル L4～L23 に複写する（小さい方の値が負の値である場合、0 とする）。

e

- (5) ワークシート “与信枠” で用いる関数を表 3 に示す。

表 3 ワークシート “与信枠” で用いる関数

書式	説明
垂直照合(式,範囲,列 の位置,検索の指定)	<p>範囲の左端列を上から下に走査し、検索の指定によって指定される条件を満たすセルが現れる最初の行を探す。その行に対して、範囲の左端列から列を 1, 2, … と数え、範囲に含まれる列の位置で指定した列にあるセルの値を返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索の指定が 0 の場合の条件：式の値と一致する値を検索する。 ・ 検索の指定が 1 の場合の条件：式の値以下の最大値を検索する。このとき、左端列は上から順に昇順に整列されている必要がある。

a, b に関する解答群

- ア D3,信用度評価基準!\$D\$2～\$E\$6,2,1
 イ D3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,1
 ウ D3,信用度評価基準!\$D\$7～\$E\$11,2,1
 エ D3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,1
 オ G3,信用度評価基準!\$D\$2～\$E\$6,2,1
 カ G3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,1
 キ G3,信用度評価基準!\$D\$7～\$E\$11,2,1
 ク G3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,1

c, dに関する解答群

- ア (B3-C3) * 垂直照合(D3,信用度評価基準!\$D\$2～\$E\$6,2,1)
- イ (B3-C3) * 垂直照合(D3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,0)
- ウ (B3-C3) * 垂直照合(D3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,1)
- エ (B3-C3) * 垂直照合(D3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,0)
- オ (B3-C3) * 垂直照合(G3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,0)
- カ E3 * 垂直照合(D3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,1)
- キ E3 * 垂直照合(G3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,0)
- ク E3 * 垂直照合(G3,信用度評価基準!\$D\$2～\$F\$6,3,1)
- ケ E3 * 垂直照合(G3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,1)
- コ F3 * 垂直照合(G3,信用度評価基準!\$D\$7～\$F\$11,3,0)

eに関する解答群

- ア IF(最小(J3～K3)<0,0,最小(J3～K3))
- イ IF(最大(J3～K3)<0,0,最大(J3～K3))
- ウ 最小(J3～K3)
- エ 最大(J3～K3)

設問2 取引先の与信管理に関する次の記述中の に入れる正しい答えを、
解答群の中から選べ。

[ワークシート：支払いサイト]

表2の信用度に基づく支払いサイトに対応した図3のワークシート“支払いサイト”を作成した。セルB2～F6に決められた支払いサイトの月数を入力する。
ここで、取引停止“－”に対しては数値0を入力する。

	A	B	C	D	E	F
1	基準 1 \ 基準 2	取引停止	慎重	現状維持	積極	最優先
2	取引停止	0	0	0	0	0
3	慎重	0	0	1	2	2
4	現状維持	0	1	2	2	2
5	積極	0	2	2	3	3
6	最優先	0	2	2	3	3

図 3 ワークシート“支払いサイト”

〔ワークシート：与信管理〕

取引先の信用度評価結果に基づく支払いサイトの決定及び与信枠に基づく当月受注の可否の判定を行うため、図 2 のワークシート“与信枠”に M 列以降を追加して、図 4 のワークシート“与信管理”を作成した。

	A	...	H	I	...	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	取引先	...	信用度		...	与信枠 (千円)	支払いサイト (月数)	前月 売上 (千円)	2 か月前 売上 (千円)	3 か月前 売上 (千円)	受注可否判定		
2		...	基準 1	基準 2	...			1	2	3	前月売 掛残 (千円)	当月注 文額 (千円)	判定 結果
3	K1	...	現状維持	慎重	...	12,000	1	2,438	2,212	2,543	2,438	2,611	○
4	K2	...	現状維持	積極	...	269,000	2	121,806	75,058	29,972	196,864	50,346	○
5	K3	...	慎重	現状維持	...	87,500	1	23,169	36,507	31,572	23,169	47,483	○
6	K4	...	取引停止	現状維持	...	0	0	0	0	0	0	0	×
7	K5	...	現状維持	積極	...	292,000	2	93,930	1,894	75,405	95,824	50,346	○
⋮	⋮	...	⋮	⋮	...	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
19	K17	...	慎重	積極	...	200,000	2	60,896	46,210	82,942	107,106	98,770	×
20	K18	...	慎重	現状維持	...	53,500	1	24,811	19,113	14,800	24,811	93,530	×
21	K19	...	慎重	現状維持	...	26,500	1	7,979	3,333	5,221	7,979	2,403	○
22	K20	...	現状維持	現状維持	...	207,000	2	77,803	30,729	38,580	108,532	81,151	○
23	K21	...	慎重	慎重	...	11,800	0	5,216	4,610	2,675	0	10,400	○

図 4 ワークシート“与信管理”

- (1) 信用度の評価結果の組合せから決定される支払いサイトを求めるために次の計算式をセル M3 に入力し、セル M4～M23 に複写する。

f

- (2) セルN3～P23に、取引先ごとの前月～3か月前の売上を入力する。セルN2～P2に、売上月に対する当月からさかのぼった月数を入力する。
- (3) 前月までの売上金額に対して支払いサイトに応じて回収した結果の売掛金の残額（以下、前月売掛残という）を求めるために、次の計算式をセルQ3に入力し、セルQ4～Q23に複写する。ここで、各取引先に対する売掛金回収は、前倒し及び延滞はなく、支払いサイトどおりに行われているものとする。

g

- (4) 当月注文額をセルR3～R23に入力する。
- (5) 前月売掛残と当月注文額の合計と与信枠を比較し、受注可否の判定を行う。前月売掛残と当月注文額の合計が、与信枠を超える場合又は与信枠が0の場合、受注不可とする。受注可の場合は“○”，受注不可の場合は“×”を表示する。次の計算式をセルS3に入力し、セルS4～S23に複写する。

h

- (6) 表3の関数に加えて、ワークシート“与信管理”に用いる可能性のある関数を、表4に示す。

表4 ワークシート“与信管理”で用いる可能性のある関数

書式	説明
水平照合(式, 範囲, 行の位置, 検索の指定)	範囲の上端行を左から右に走査し、検索の指定によって指定される条件を満たすセルが現れる最初の列を探す。その列に対して、範囲の上端行から行を1, 2, …と数え、範囲に含まれる行の位置で指定した行にあるセルの値を返す。 ・検索の指定が0の場合の条件：式の値と一致する値を検索する。 ・検索の指定が1の場合の条件：式の値以下の最大値を検索する。このとき、上端行は左から順に昇順に整列されている必要がある。
表引き(範囲, 行の位置, 列の位置)	範囲の左上端から行と列をそれぞれ1, 2, …と数え、範囲に含まれる行の位置と列の位置で指定した場所にあるセルの値を返す。
照合一致(式, 範囲, 検索の指定)	1行又は1列を対象とする範囲に対して、範囲の左端又は上端から走査し、検索の指定によって指定される条件を満たす最初のセルを探す。範囲の左端又は上端から1, 2, …と数え、範囲の中で見つかったセルの位置の数を返す。 ・検索の指定が0の場合の条件：式の値と一致する値を検索する。 ・検索の指定が1の場合の条件：式の値以下の最大値を検索する。このとき、範囲は左端又は上端から順に昇順に整列されている必要がある。 ・検索の指定が-1の場合の条件：式の値以上の最小値を検索する。このとき、範囲は左端又は上端から順に降順に整列されている必要がある。
条件付合計(検索の範囲, 検索条件の記述, 合計の範囲)	行数及び列数がともに同じ大きさの検索の範囲及び合計の範囲に対して、検索と合計を行う。検索の範囲に含まれるセルのうち、検索条件の記述で指定される条件を満たすセルをすべて探す。検索条件の記述を満たした各セルを左上端から数えた位置と、合計の範囲中で同じ位置にある各セルの値を合計して返す。検索条件の記述は比較演算子と式の組で記述し、検索の範囲に含まれる各セルと式の値を、指定した比較演算子によって評価する。

fに関する解答群

- ア 照合一致(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,垂直照合(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,3,0),水平照合(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,3,0))
- イ 照合一致(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,水平照合(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,3,0),垂直照合(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,3,0))
- ウ 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,垂直照合(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,3,0),水平照合(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,3,0))
- エ 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,水平照合(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,3,0),垂直照合(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,3,0))
- オ 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,照合一致(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,0),照合一致(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,0))
- カ 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,照合一致(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,1),照合一致(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,1))
- キ 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,照合一致(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,0),照合一致(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,0))
- ク 表引き(支払いサイト!\$B\$2~\$F\$6,照合一致(I3,支払いサイト!\$B\$1~\$F\$1,1),照合一致(H3,支払いサイト!\$A\$2~\$A\$6,1))

gに関する解答群

- ア N3
- イ 合計(N3~P3)
- ウ 合計(N3~P3)+R3
- エ 条件付合計(N\$2~P\$2,'=M3',N3~P3)
- オ 条件付合計(N\$2~P\$2,'=M3',N3~P3)+R3
- カ 条件付合計(N\$2~P\$2,'<M3',N3~P3)
- キ 条件付合計(N\$2~P\$2,'<M3',N3~P3)+R3
- ク 条件付合計(N\$2~P\$2,'≤M3',N3~P3)
- ケ 条件付合計(N\$2~P\$2,'≤M3',N3~P3)+R3

hに関する解答群

- ア IF($Q3 > L3$, '×', '○')
- イ IF($Q3 \geq L3$, '×', '○')
- ウ IF($((Q3 + R3) > L3)$, '×', '○')
- エ IF($((Q3 + R3) \geq L3)$, '×', '○')
- オ IF(論理積($(Q3 + R3) > L3, L3 = 0$), '×', '○')
- カ IF(論理積($(Q3 + R3) \geq L3, L3 = 0$), '×', '○')
- キ IF(論理和($Q3 > L3, L3 = 0$), '×', '○')
- ク IF(論理和($Q3 \geq L3, L3 = 0$), '×', '○')
- ケ IF(論理和($((Q3 + R3) > L3, L3 = 0)$), '×', '○')
- コ IF(論理和($((Q3 + R3) \geq L3, L3 = 0)$), '×', '○')